

より近く より深く より前へ

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2016
December

No. 177

12



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 12

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践支援
- 営農指導機能強化支援
- 農業経営管理支援
- 法人等担い手支援
- 出向く営農支援体制の強化と活動支援
- JA-TACの人材育成
- JAの野菜振興取組支援
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにやく生玉販売推進 (10月20日～12月15日)
- こんにやく荒粉・精粉入札販売の実施
- こんにやく製品セット冬期特別推進 (11月1日～12月末日)
- 菌茸類種駒・種菌予約推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計干大根販売 (12月中旬迄)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)

販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 冬春用出荷資材予約推進 (ほうれん草・きゅうり・アスパラ他)
- 温床資材予約推進
(農ポリ・トンネル資材・こんにやくマルチ等)
- 冬春用野菜種子推進 (ほうれん草・きゅうり他)
- 種馬铃薯納品

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
- ☆花木流通センター
12月2日(金)～4日(日)
ウインターフラワーギフトセール
12月23日(金)～31日(土) 歳末感謝フェア
12月7・14・21・28日(水) 水曜お米特売日
12月17日(土) 午前市
※12月20・27日(火)は臨時営業
- ☆愛菜館
12月23日(金)～31日(土) 歳末感謝フェア
12月8(木)・18(日)・28(水) 8の日お米特売
12月7・14・21・28日(水) 水曜肉の特売日
12月17日(土) 午前市
※12月20・27日(火)は臨時営業
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 施設園芸肥料推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 麦用除草剤推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- 「上州もみ切りうどん」・「四季のめん詰合せ」推進
(10月～12月)
- JA高崎ハムお歳暮ギフト推進 (11月～12月)
- こだわりみかん推進 (11月～12月)

葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進 (周年)
- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

石油課

- JA-SS冬のキャンペーン (11月～12月)

ガス課

- ガス器具キャンペーン
- ふれあい訪問活動推進
- 第2回クミアイガス器具特別推進



第2回コンプライアンス推進全体職員研修会
(11.4 JAビル)

■ 日頃の積み重ねで リスクを減らそう

11月4日(金)、コンプライアンス推進部主催の「第2回コンプライアンス推進全体職員研修会」がJAビル大ホールにて開催されました。研修会では、成清理事長のメッセージ放映に続き、須藤本部長が挨拶に立ち「コンプライアンス意識を高め、全職員の意思を結集し取り組んでほしい。」と呼びかけました。その後、平成28年度上期における取り組み説明の中で、リスク事案の発生状況等の報告が行われました。また、法令の厳守やルールに基づく業務推進などの説明も行われました。

■ 全国のおいしいが大集合！

11月11日(金)～12日(土)の2日間、池袋サンシャインシティワールドインポートマートビルにおいて、第55回農林水産祭「実りのフェスティバル」が開催され、全国各地の特産品が一堂に会しました。当県本部からは、板こんにゃくやしきたきなどのこんにゃく製品とおつ切り込みご膳などのうどん製品を出品。特に生芋こんにゃくは好評で、来場者からは「これを目当てに毎年来ている。」「昨年食べたらとてもおいしかったのでまた来た。」といった嬉しい声も多くいただきました。



第55回農林水産祭 実りのフェスティバル
(11.11・12 池袋サンシャインシティ
ワールドインポートマートビル)



渋川家畜市場子牛出荷者研修会
(11.15 JAビル)

■ 和牛生産の今後に活かす

11月15日(火)、群馬県JA繁殖和牛連絡協議会と当県本部共催による「渋川家畜市場子牛出荷者研修会」が開催され、生産者及びJAの担当者等が出席しました。研修会では、鳥取県農林水産部農業振興戦略監畜産課課長の岡崎氏、鳥取県畜産試験場育種改良研究室主任研究員の小江氏、鳥山畜産食品(株)代表取締役社長の鳥山氏の3名を講師に迎え、鳥取県の種雄牛造成や牛肉のおいしさについて講義をしていただきました。



農業用免税軽油利用拡大説明会
(11.18 JAビル)

■ 農業者への周知徹底を

11月18日(金)、石油課は免税軽油の利用推進を図るために「農業用免税軽油利用拡大説明会」を開催し、各JAの営農担当部課長や県本部担当者等約40名が出席しました。農業用機械に使用する軽油は、一定の手続きを行うことで軽油引取税が免税となります(免税軽油)。説明会では、群馬県より3名の方を講師に迎え、申請の手続きや利用拡大の取り組みについての説明が行われました。

■ こんにゃく芋の 大きさ・重さ・美しさ競う

11月21日(月)、群馬県蒟蒻生産協会主催の「第21回『群馬のこんにゃくは日本一だんべ!』ジャンボ生玉コンテスト」が花木流通センターにて開催され、10点が出品されました。審査員により、重量・バランス・栽培技術等が総合的に評価された結果、最優秀賞の「横綱」には、「29.82kg」を記録した三木俊夫さん(JAたのふじ)の生玉が選ばれました。三木さんは昨年に引き続き2年連続での受賞となりました。なお、入賞した上位5点は、今後各種イベント等で消費拡大のために活用される予定です。



第21回「群馬のこんにゃくは日本一だんべ!」
ジャンボ生玉コンテスト
(11.21 花木流通センター)



渋川家畜市場乳用牛セリ市
(11.25 渋川家畜市場)

■ 本州初開設 渋川市場で乳用牛のせり

11月25日(金)、渋川家畜市場において乳用牛のせりが初開催されました。県内の畜産振興を目的に設けられた当市場により、今までは北海道での購入がほとんどだった乳用牛を県内で購入できるようになるため、輸送費を抑えられるなどのメリットが得られます。当日は県内から77頭が上場し、このうち69頭の売買が成立しました。最高値は前橋市の砥上雅道さんが出荷した初妊牛の、1,191,240円でした。

今回は、来年2月に開催され、今後回数を増やしていく予定です。



全国ねぎサミット
(11.26・27 大井競馬場)

■ 全国のねぎ産地が大集合

11月26日(土)～27日(日)の2日間、東京都の大井競馬場において「全国ねぎサミット」が開催され、JA甘楽富岡・JA碓氷安中・当県本部が参加しました。この催しは、国産ねぎの消費拡大と地域の活性化を目的に2010年より全国各地で毎年開催されているものです。当日は、JA碓氷安中産の上州ねぎの塩焼きやJA甘楽富岡産のやわらかねぎを使用した「こしね汁」の販売などを行い、群馬県産ねぎのおいしさをPRしました。

新店舗「焼肉あぐり朝日庵」オープン!!

株式会社エーコープ関東は、前橋市朝日町のJAファーマーズ朝日町の敷地内に「焼肉あぐり朝日庵」を出店し、12月11日(日)より営業を開始しました。上州和牛を始めとする群馬県産農畜産物を堪能できる焼肉店「焼肉あぐり」の県内5店舗目の出店です。同店では、JAファーマーズ朝日町店と連携し、朝採れの新鮮野菜を仕入



▲ 12月9日(金)に行われた内覧会の様子



れるほか、上州和牛の1頭買いに取り組み、希少部位の提供なども行います。また、JAファーマーズで購入した食材を持ち込み、バーベキューができるスペースも設置される予定で、今後幅広い層のお客様からの利用が期待されます。当面は夜だけの営業とし、ランチ営業は来年1月からを予定しています。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
新春対談／JA群馬中央会	1月2日(月)	PM9:00～9:30
	※1月8日(日)	AM8:00～8:30
魅力あふれる！産直ゆうあい館／JA群馬中央会	1月9日(月)	PM9:00～9:30
	※1月15日(日)	AM8:00～8:30



山部 朱里アナ

2017年JA全農ぐんまオリジナルカレンダー完成!

Calendar 2017

(平成29年)



小エスイカの収穫(太田市大久保町) なすの収穫(伊勢崎市小泉町) 苜蓿に囲える小麦(沼田市新田町) 写真提供: J.A.たかふさ

私たちが暮らすふるさと、生産者と消費者を
安心で結ぶ想い。ここに記します。

JA全農ぐんま



2017年のカレンダーが完成いたしました! カレンダー用写真にご応募をいただきまして誠にありがとうございます。引き続き、2018年カレンダーの作成にあたり写真を募集いたします。どうぞ奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

募集要項

- **テーマ**
農のある風景(群馬県内)
- **応募期限**
平成29年8月14日(月)
- **お問合せ・提出先**
全農群馬県本部 管理部 企画開発課
Tel (027-220-2223) / Fax (027-220-2229)
E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp
- **その他**
詳細につきましては、本誌平成29年5月号に掲載予定です。

旬

季節限定

秋

行楽・おにぎり・お弁当

春

行楽・おにぎり・お弁当

冬

正月・贈り物・お祝い

夏

行楽・おにぎり・お弁当

一年を通して海苔を消費するシーン

ここがポイント

- やわらかな口どけと独特の甘みが特徴
- やわらかな新海苔は、歯がかりよく噛みつぶす。
- 口に入れると海苔のうま味成分がすぐに溶け出します。
- 口いつばい! うま味が広がり、甘い香りが鼻に抜けてゆきます。

この季節しか味わえない新海苔を是非ご賞味ください。

組合員のみなさまへ

有明産 新海苔

シーズン到来!! 採れたての旬の香り

新海苔とは?

● 海苔の収穫は主に11月～翌年の3月頃まで行われ、その年の一番最初に採れた海苔を新海苔といえます。

● 今回ご紹介する新海苔は、日本最大の海苔産地・有明海で収穫された美味しい新海苔のみ。

組合員様にお届けさせていただきます。

写真はイメージです。

お問い合わせ先

JA全農ぐんま

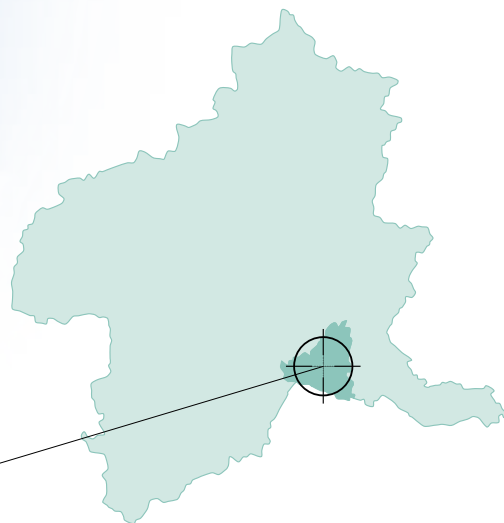
生活課

TEL 027-1220-12351

FAX 027-1220-12324

農業 チャレンジャー

JA佐波伊勢崎



長年の経験が育むおいしさ

JA佐波伊勢崎管内 木村 文秋 さん



木村 文秋
(きむら・ふみあき) さん

1960年生まれ、56歳。
JA佐波伊勢崎トマトセンター
利用組合の組合長を務める。

栽培面積

トマト	35a
きゅうり	15a
とうもろこし	50a
キャベツ	100a
米	40a

趣味 : ドライブ

農業一筋に歩んだ道

今回のチャレンジャーは、JA佐波伊勢崎管内でトマト・キャベツなどの野菜と米の生産を行う木村さんです。「実家が農家で、小さい時から野菜作りに触れていたため、自分もその道に進むことに何の迷いもありませんでした。農林大学校を卒業し、20歳で就農してから、36年間農業一筋で取り組んできました。」と話します。今(12月)は、収穫を目前に控えたトマトの手入れと8月に播種を行ったキャベツの収穫が主な作業。暖房設備が完備されたハウスでは、12月～7月という長期に渡ってトマトの収穫を行っているそうです。

有利販売に尽力

JA佐波伊勢崎では、管内にあるトマトセンターで選果・箱詰めを行い、生産者の省力化を図っています。「センターが開設される前は、箱詰め作業に夜までかかることもしばしばでした。それが今ではコンテナのままセンターに持っていただけとなり、作業が大幅に楽になりました。」と話します。

また、木村さんは約60名が所属するトマトセンター利用組合の組合長として、市場との販売交渉にも取り組んでいます。「市場からは、需要の高い1kg箱や小袋での出荷が求められることがあります。そのような要望にも柔軟に対応することで、組合として有利販売に努めています。」と話してくれました。

冬が最もおいしいトマト

「これから出荷の始まる冬場のトマトは、甘さをじっくりと蓄えていておいしいので、ぜひ多くの方に味わってほしいですね。」と木村さん。冬場のトマトは追熟の速度が遅いため、まだ青いうちに収穫する夏場と違い、真っ赤に完熟してから収穫することができるので、より糖度が強いのだそうです。

最後に、今後に向けた思いを伺うと、「無理せず管理できる今の規模を維持しながら、この先も健康で永く、皆さんに喜んでもらえる物を作り続けたいと思います。」と話してくれました。常に作物と真剣に向き合い、おいしさを追求する木村さんの、熱き挑戦はこれからも続きます。



1 「トマト栽培には、ハウス内のこまめな温度管理と水の管理が欠かせません。」と木村さん。

2 甘さを蓄え完熟を待つトマト。

3 3日前に定植したばかりというトマトの様子。

4 ハウスの外には、収穫期を迎えたキャベツ畑が広がります。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA太田市
営農部 農畜産課

岡部 貴大さん

Profile

おかべ・たかひろ (21歳)

趣味.....吹奏楽

特技.....チューバ

好きな食べ物.....新鮮な野菜

●職場の皆さんからみた神部さん

「1年目にして1人で畜産担当を任されているので大変だと思いますが、よくやってくれています。組合員さんからも愛されているので、今後ますますの活躍に期待しています。パパになっても頑張ってください!」

「入組1年目 地域の畜産を担い奮闘」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか?

農業を営む祖父母の影響ですと農業に興味がありました。農林大学校を卒業し、そこで学んだことを営農指導などの形で活かしたいと思いJAへ就職しました。

——お仕事内容を教えてください。

農畜産課で肉牛・酪農・養豚などの畜産担当をしています。業務の割合としては肉牛に関するものが一番多く、和牛の子牛の登記・保険申請の手続き・渋川家畜市場への出荷補助などを行っています。

——子牛の登記とは具体的にどんなことをするのですか?

毎月30頭前後の牛の鼻紋を採取し、それを登録しています。人間の指紋と同じように牛の鼻紋は一頭一頭模様が異なるので、個体の識別に用いられているんです。

——1年目ということですが、実際に働いてみていかがですか?

配属当初は畜産について何も知識がありませんでしたし、担当が自分一人ということでもとても不安でした。農家の皆さんから教わりながら業務を通じて日々勉強させてもらっています。最近ようやく、牛の姿を見て発育状態の良し悪しが判断できるようになりました。

——どんな時に業務の難しさを感じますか?

肥育牛は血統によって肉質や体型に特徴があるのですが、種付けをする際にその組み合わせを考えるのが難しいです。組合員さんから相談されることもあるので、早く知識を増やし、最適なアドバイスができるようになりたいです。

——休日はどのように過ごしていますか?

今年の5月に結婚したばかりで、休日は妻と出かけることが多いです。実は、今月第1子が産まれる予定です。

——もうすぐパパになるんですね!

はい。これから責任が増えますが家族が増えるのが楽しみです。

——では、最後に今後の意気込みをお聞かせください。

組合員さんの立場に立って仕事をし、皆さんと喜びや苦労を共有していきたいと思っています。まだまだ学ぶことばかりですが、早く頼りにされる職員となれるよう今後も努力していきます。

——岡部さん、これからも頑張ってください。ありがとうございます!



▲組合員と牛の状態を確認する岡部さん

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は11月25日に10月の牛乳乳製品統計を公表した。10月生乳生産量は60万0,456tで前年に比べ0.5%減少した。

北海道は31万9,396t(前年同月比0.2%減)で生産量の全国シェアは53.2%となった。都府県の生産量は28万1,060tとなり、前年同月比で0.8%減少した。

■販売及び乳製品情勢

10月の用途別処理量は、牛乳等向けが35万0,372t(前年同月比1.9%増)、乳製品向けが24万5,507t(〃3.7%減)となった。

飲用牛乳等生産量は30万8,778kl(〃1.0%増)で前月から0.6ポイント減少し、うち牛乳が27万1,518kl(〃1.7%増)であった。また、乳飲料は10万7,682kl(〃6.0%減)で前月から2.0ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	630,407	653,358	626,316	631,311	610,433	585,529
	群馬(委託実績)	18,310	18,703	17,604	17,590	17,121	16,449
	本会(委託実績)	5,911	5,883	5,426	5,373	5,204	5,091
用途別処理量	飲用牛乳等向け	323,332	350,076	350,374	345,246	328,834	349,140
	乳製品向け	302,614	298,934	271,712	281,816	277,349	232,045
	その他向け	4,461	4,348	4,230	4,249	4,250	4,344
前年対比	生乳生産量(全国)	100.9	100.7	100.3	100.4	100.3	98.8
	〃(群馬)	98.8	98.3	98.6	99.9	99.6	99.6
	〃(本会)	99.3	96.2	94.9	96.9	98.2	98.5
	飲用牛乳等向け	100.3	100.8	100.4	102.1	101.9	103.3
	乳製品向け	101.6	100.7	100.3	98.6	98.6	92.7
10月		11月	12月	1月	2月	3月	計
600,456							4,337,810
17,068							122,844
5,289							38,177
350,372							2,397,374
245,507							1,909,977
4,577							30,459
99.5							100.1
100.5							99.3
99.4							97.6
101.9							101.5
96.3							98.4

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(12月予想)：牛肉相場は堅調。年末の引合と枝肉共進会等が噛み合い上物は高値期待。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,950円中心	・和牛去勢A3	2,550円中心	・交雑去勢B3	1,700円中心
・和牛去勢A4	2,750円中心	・和牛去勢A2	2,200円中心	・交雑去勢B2	1,450円中心
		・交雑去勢B5	2,000円中心	・乳牛去勢B2	1,000円中心
		・交雑去勢B4	1,900円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349	2,395	2,455	2,539	2,754	2,645	2,640	2,462
	28年-29年	2,734	2,733	2,653	2,631	2,587	2,553	2,608	2,675				2,647
	前年格差	451	384	401	376	238	158	153	136				185
和牛去勢A3	27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106	2,133	2,228	2,349	2,485	2,464	2,384	2,246
	28年-29年	2,514	2,525	2,393	2,356	2,371	2,322	2,372	2,411				2,408
	前年格差	416	393	313	271	265	189	144	62				162
交雑去勢B3	27年-28年	1,654	1,693	1,672	1,703	1,707	1,717	1,746	1,751	1,789	1,723	1,675	1,711
	28年-29年	1,742	1,719	1,710	1,755	1,754	1,742	1,760	1,754				1,742
	前年格差	88	26	38	52	47	25	14	3				31

群馬県食肉卸売市場上場頭数・全国と畜頭数

(単位：頭)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
27年-28年		1,085	946	907	1,151	871	1,004	1,084	1,390	1,321	966	1,009	1,091	12,825
28年-29年		1,109	778	745	903	791	974	867	1,114					7,280
前年格差		24	▲ 168	▲ 162	▲ 248	▲ 80	▲ 31	▲ 218	▲ 276					▲ 5,545
全国 と畜 頭数	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748	84,388	88,223	95,304	106,249	102,271	79,030	82,811	85,067	1,090,791
	28年-29年	87,263	81,394	83,538	90,633	83,592	86,545	88,445						601,410
	前年比	91.1	97.7	93.2	91.8	99.1	98.1	92.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.1

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 907千円平均(前月比102%)	(雌) 783千円平均(前月比101%)
②F1価格	(去勢) 483千円平均(前月比103%)	(雌) 387千円平均(前月比101%)
③乳牛素牛	(去勢) 215千円平均(前月比107%)	

12月道産肉用乳素牛取引基準価格：750円/kg(前月価格の20円上げ)

養豚情勢

枝肉相場関係

年末に向け伸長の見込み。

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(B)		569	535	565	613	615	530	471	481	531	472	525	490	533
28年-29年(C)		492	560	603	557	499	526	483	508					529
(B-A)		16	▲47	▲56	33	67	▲18	▲46	▲88					▲36
(C-B)		▲77	25	38	▲56	▲116	▲4	12	27					▲5

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998	42,383	45,504	42,052	43,542	40,885	40,178	42,107	491,970
	28-29年	40,481	35,948	37,630	35,502	37,818	39,656	40,977	43,339					311,351
前年比(%)		97.0	96.1	95.8	86.9	105.1	93.6	90.1	103.1					63.3

肉豚生産出荷予測（全国） ※10月まで実績／11月以降の出荷予測は

11月9日付農水省畜産部食肉鶏卵課発表による

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4月	5月	6月	4月～6月	7月	8月	9月	7月～9月	10月	11月	12月	10月～12月	1月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,368	1,312	1,305	3,985	1,250	1,327	1,359	3,936	1,372	1,489	1,511	4,372	1,430
前年同月比(%)		99	105	101	102	94	111	102	102	95	106	102	101	106

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、12月の出荷見込頭数は1,511千頭（前年同月比102%）となっている。その後は1月1,430千頭（〃106%）と予想されている。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

平成28年12月243円（見込み） 95%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
27年-28年(A)		227	230	223	213	219	247	250	252	255	182	209	215	227
28年-29年(B)		215	204	197	184	180	192	211	231					202
(B-A)		▲12	▲26	▲26	▲29	▲39	▲55	▲39	▲21					▲25
全国基金	27-28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.005	0	0	
補填	28-29年	0	0	0	6.093	7.092	0	0	0					

■価格動向：11月の平均単価は231円（前年同月▲29円）となった。12月は強含みの見込み。

■出荷動向：寒冷な気候により卵重は安定。

■需要動向：鍋物需要やクリスマスなどの加工需要で活発化。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	27-28年	2,449	1,888	2,307	1,979	1,803	1,794	2,574	2,196	2,476	2,352	2,086	2,042	25,946
実績(t)	28-29年	2,025	1,667	1,721	1,414	2,007	2,342							11,176
前年比(%)		82.7	88.3	74.6	71.5	111.3	130.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.1
餌付羽数	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375	7,263	8,244	8,418	7,716	8,547	7,765	8,075	8,711	98,048
(千羽)	28-29年	8,217	8,805	8,777	8,091	8,201	8,966	8,682						59,739
前年比(%)		104.4	104.5	101.6	96.6	112.9	108.8	103.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.9

■価格の推移

- (1) 20年度：193円 (2) 21年度：175円 (3) 22年度：194円 (4) 23年度：188円 (5) 24年度：181円 (6) 25年度：207円 (7) 26年度：216円 (8) 27年度：227円

■原料情勢

①とうもろこし(シカゴ定期)

11月9日発表の米国農務省需給見通しでは、米国とうもろこしの2015/16年産について、供給量・需要量がそれぞれ15,400百万ブッシェル(前月発表15,400百万ブッシェル)、13,662百万ブッシェル(前月発表13,662百万ブッシェル)と共に据置で見通された。2016/17年産については、作付面積は94.5百万エーカーと据置で見通され、単収は175.3ブッシェル/エーカーと上方修正された。供給量全体としては先月から17,013百万ブッシェル(前月発表16,845百万ブッシェル)と上方修正されて高い見通しとなっている。需要面については、エタノール需要が5,300百万ブッシェル(前月発表5,275百万ブッシェル)と微増で見通されたことから、全体では14,610百万ブッシェル(前月発表14,525百万ブッシェル)と見通された。

シカゴ定期は、11月9日発表の米国農務省需給見通しで単収が事前予想を上回り、生産量が上方修正されたことから軟調に推移した。引き続きとうもろこしの作付が進んでいる南米の天候や、米国産とうもろこしの需要動向に注目したい。

②大豆粕

11月9日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2016/17年産について、単収が51.4ブッシェル/エーカーから過去最高の52.5ブッシェル/エーカーに引き上げられたことで、供給量は生産量が92百万ブッシェル増加し、4,588百万ブッシェル/エーカーとなった。需要量は輸出需要が25百万ブッシェル増、搾油需要が20百万ブッシェル減少し、4,108万ブッシェルとなった。期末在庫は前月発表から85百万ブッシェル上方修正されて480百万ブッシェルとなり、在庫率も前月発表の9.63%から11.68%へと上方修正された。

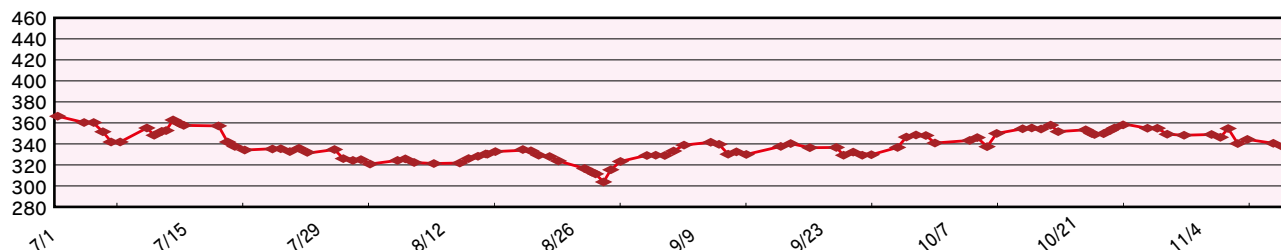
今後のシカゴ定期は、作付期を迎えた南米の天候、投機筋のポジション動向、および中国を中心とした消費国の需要動向に影響されながら推移すると見込まれる。

■海上運賃

米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、主要産油国による減産協議の動向への不透明感を背景に原油価格が下落しているものの、中国向け大豆需要による北米新穀貨物の引き合いによる用船料の上昇により、堅調に推移した。

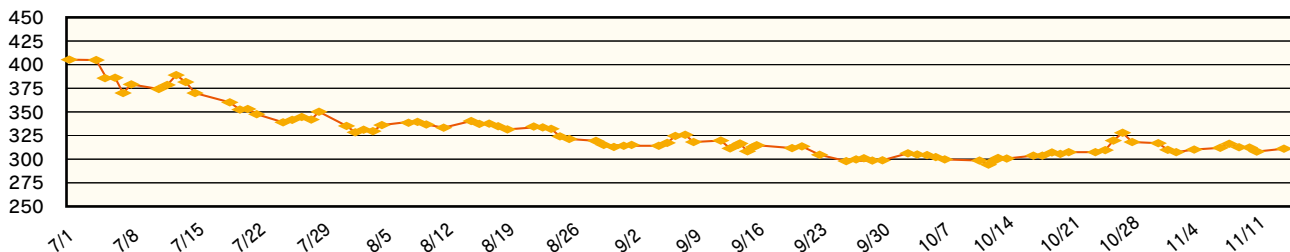
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



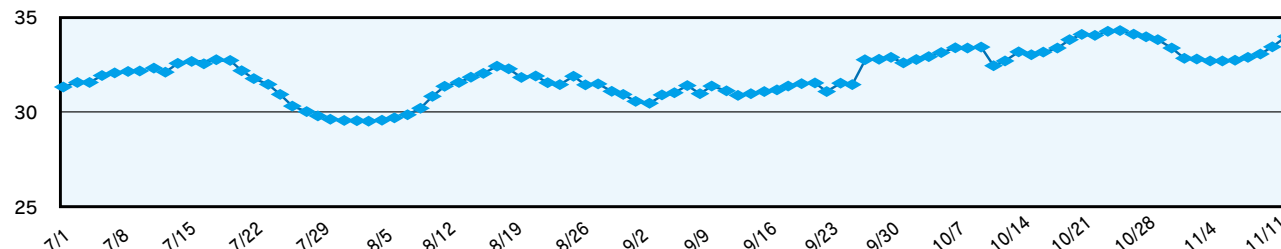
ドル/米トン

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



花木流通センターでは、毎年大好評の「洋蘭フェア」を今年も開催いたします。

胡蝶蘭など定番の色や品種はもちろんのこと、普段なかなかお目にかかれないような種類の物まで大特価で販売いたします。高価な蘭を2つ、3つとまとめ買いできるチャンスです!! ぜひこの機会をお見逃しなく! 皆様のご来店を心よりお待ちしております。

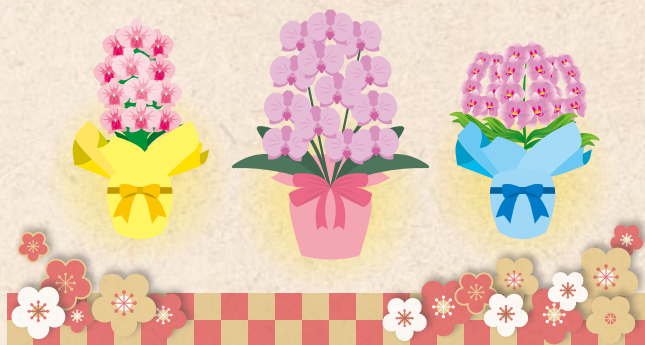
1月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください!

開催日	内容
-----	----

1月28日(土)	特選! 洋蘭フェア
----------	-----------

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



花木流通センター・愛菜館

年末年始営業時間のお知らせ

年末 12月30日(金) 通常営業 9:00~18:00
12月31日(土) 9:00~12:00

年始 1月1日(日)~5日(木) お休み
1月6日(金) 通常営業 9:00~18:00

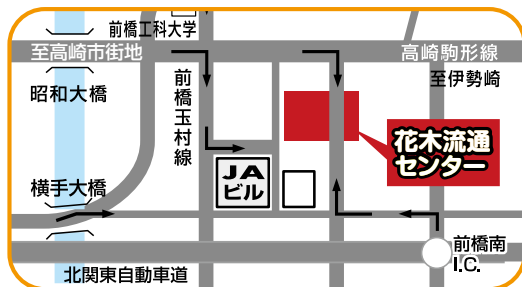
花と緑あふれる広場
KABOKU
花木流通センター

営業時間: 年中無休/9:00~18:00

(節電のため7月~2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

やさいひろば
JA直販 愛菜館

営業時間: 毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

JA全農ぐんま「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
を
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



白菜とクルミのブルーチーズ和え

材 料

2人分

(1個分116cal)

白菜	100g
クルミ	10g
アンチョビ	2枚
赤唐辛子	2本
ブルーチーズ	30g
牛乳	大さじ1強
レモン汁	大さじ1
塩コショウ	適量

作り方

- 1 白菜は洗って葉と茎に切り分ける。それぞれ5cmの長さに切り、細かい千切りにする。
- 2 クルミとアンチョビは粗いみじん切りにする。唐辛子は種を取り小口切りにする。
- 3 ブルーチーズは刻み牛乳と器に入れる。20秒位レンジにかけ溶かす。
- 4 白菜とクルミを3のチーズであえ、ここにアンチョビと唐辛子を加える。レモン汁・塩コショウで味を調えて完成。(パンにサンドして食べたり付け合せにしても良い。)